



FileMaker®

インストールおよび新機能ガイド

For FileMaker Pro 9 and FileMaker Pro 9 Advanced

©2005-2007 FileMaker, Inc. All Rights Reserved.

FileMaker, Inc.
5201 Patrick Henry Drive
Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカー及びファイルフォルダロゴは、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ScriptMaker は、FileMaker, Inc. の商標です。その他記載された会社名及びロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

また、製品及びサンプルファイル等に登場する会社名、氏名、住所などのデータは全て架空のもので、実在する企業、人物とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。詳細情報については www.filemaker.co.jp をご覧ください。

目次

第 1 章	
インストールを始める前に	5
このガイドについて	5
ユーザ登録とサポート	6
更新の通知	6
ライセンスキーについて	7
FileMaker ソフトウェアのアクティベーション	8
必要なハードウェアとソフトウェア	9
Windows の必要条件	10
Mac OS の必要条件	10
ネットワークを使用する場合の条件	11
Web 上でデータベースを公開する場合の条件	11
他の機能を使用するための条件 (Windows)	12
他の機能を使用するための条件 (Mac OS)	12
Mac OS X でサポートされていない機能	13
Windows でサポートされていない機能	13
旧バージョンのファイルの開き方	13
ユーザ辞書の更新	13
ボリュームライセンスのインストール	14
第 2 章	
Windows での FileMaker Pro のインストール	15
インストール参考事項	15
FileMaker Pro のインストール	16
コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール	17
ハードディスク上でのファイルの保存場所	18
FileMaker Pro の削除、変更、または修復	18
FileMaker Pro のキャッシュサイズの変更	19
この後の作業を開始するにあたって	20
第 3 章	
Mac OS での FileMaker Pro のインストール	23
インストール参考事項	23
FileMaker Pro のインストール	24
ハードディスク上でのファイルの保存場所	25

4 | 目次

Mac OS X での ODBC クライアントドライバのインストール	25
FileMaker Pro のキャッシュの調整	25
この後の作業を開始するにあたって	27

第 4 章

新機能

FileMaker Pro 9 の新機能	29
FileMaker Pro 9 Advanced の新機能	32

第 1 章

インストールを始める前に

このたびは FileMaker® ソフトウェアをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。FileMaker は情報を簡単、効果的に管理できるように設計されています。

このガイドについて

この『インストールおよび新機能ガイド』では、FileMaker Pro 9 または FileMaker Pro 9 Advanced を Windows または Mac OS コンピュータにインストールする方法を説明し、これらのソフトウェアの新機能をご紹介します。

注意 このガイドでは、FileMaker Pro Advanced の特定の機能を説明する場合以外は、「FileMaker Pro」を、FileMaker Pro と FileMaker Pro Advanced の両方を指すものとして使用しています。

『FileMaker Pro ユーザーズガイド』には、すぐに効率的な作業に取り組むために必要な情報が記載されています。FileMaker Pro の使用経験がない場合は、『FileMaker Pro チュートリアル』を行って、主要な機能を試してみてください。あらゆる情報を網羅した手順ごとの操作と詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』では、FileMaker Pro Advanced で利用できる追加機能が紹介されています。メニューのカスタマイズ、テーブルのコピーとインポート、強化されたデータベース デザイン レポート、データビューアでのフィールド、変数、式の監視、ポップアップヘルプの追加などの機能が説明されています。

注意 ある機能または手順が特定のプラットフォームを対象としている場合は、説明および図もそのプラットフォームに固有の内容です。両方のプラットフォームに共通する機能や手順については、Windows または Mac OS のいずれかの図が表示されます。

ユーザ登録とサポート

ご購入いただいた製品について、テクニカルサポートやバージョンアップサービスを受けるためには、ユーザ登録を行っていただく必要があります。プロンプトに従って、登録、製品、および詳細情報を入力します。

FileMaker Pro の評価版を試用している場合は、使用する前にソフトウェアを登録する必要があります。

FileMaker Pro の [ヘルプ] メニューから [ユーザ登録] を選択し、登録することもできます。どの登録方法においても、有効なライセンスキーで登録する必要があります。

テクニカルサポートとカスタマサービスに関する情報については、www.filemaker.co.jp を参照してください。

既成のソリューションやテクニカルサポートインフォメーションなどの FileMaker の Web サイトにあるリソースにアクセスするには、[ヘルプ] メニューから [ラーニングセンター] を選択します。

更新の通知

FileMaker Pro 9 は 7 日ごとにソフトウェアの更新を自動チェックします。インターネットに接続することができる場合は、更新 Web ページにアクセスし、ソフトウェアの更新をダウンロードできます。[ヘルプ] メニューから [ダウンロードと更新] を選択して、後から更新することができます。

注意 この機能では、ソフトウェアはインストールされません。アップデートソフトウェアへのアクセスとダウンロードには、インターネットへの接続が必要です。

更新の通知をオフにするには、次のいずれかの操作を行います。

- [更新の通知] ダイアログボックスで、[更新を自動チェックしない] を選択して [はい] をクリックします。

- Windows の場合、[編集] メニューから [環境設定...] を選択します。Mac OS の場合は、[FileMaker Pro] メニューから [環境設定...] を選択します。[一般] タブで [7 日ごとに更新を自動チェック] オプションを選択解除します。更新の通知を再び有効にするには、この設定を選択します。

更新の通知を無効にする場合は、[更新の通知] ダイアログボックスは表示されません。

ライセンスキーについて

FileMaker ソフトウェアには、35 桁の英数字の固有のライセンスキーが付属します。ライセンスキーを、紛失しないようご注意ください。ライセンスキーは、ソフトウェアの再インストールが必要な場合に備えて安全な場所に保管することをお勧めします。

ライセンスキーは、CD ケースの裏にあります。ソフトウェアをアクティベートするには、有効なライセンスキーを入力する必要があります。詳細については、次のセクション「FileMaker ソフトウェアのアクティベーション」を参照してください。

ライセンスキーは、一度に 1 台のコンピュータで本ソフトウェアのコピー 1 部の使用が許諾されるエンドユーザライセンスアグリーメント（「ソフトウェア・ライセンス」を参照）に従うために使用されます。ライセンスキーが無効、または同一のライセンスキーによりインストールされたアプリケーションがネットワーク上の別のコンピュータで実行されている場合、FileMaker Pro アプリケーションによって、次のエラーメッセージが表示されます。「現在、最大登録者数でこの FileMaker Pro を使用しています。詳細は、ソフトウェアのマニュアルのライセンスキーの項目を参照してください。」

このエラーメッセージが表示された場合、入力されたライセンスキーがすでに使用されていることを示しています。複数のコンピュータに FileMaker Pro をインストールするには、各ユーザに個別のライセンスキーを使用するか、ボリュームライセンスアグリーメントに基づいてライセンスを取得する必要があります。ユーザ 1 人に対して FileMaker Pro を 1 部ずつ購入する必要があります。

FileMaker ソフトウェアのアクティベーション

FileMaker Pro ソフトウェアでは、オンラインのアクティベーション技術を使用して、ユーザまたは企業（事業所）に正規の FileMaker ソフトウェアがあることを確実にします。アクティベーションは、不正なソフトウェア頒布から FileMaker, Inc. を保護するためにも役立ちます。

目的	FileMaker Pro で実行する操作
起動時に FileMaker Pro をアクティベートする	[FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスで、[アクティベート] をクリックします。
製品版ソフトウェアを後でアクティベートする	[FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスで、[後でアクティベート] をクリックします。
製品版ソフトウェアを試用期間中にアクティベートする	[ヘルプ] メニューから [アクティベート] を選択します。 [FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスで、[アクティベート] をクリックします。
評価版ソフトウェアをアクティベートする	起動時に、ダイアログボックスで [ライセンスキー] をクリックしてライセンスキーを入力し、[アクティベート] をクリックします。ソフトウェアを使用している場合は、[ヘルプ] メニューから [アクティベート] を選択します。[FileMaker アクティベーション] ダイアログボックスで、ライセンスキーを入力して、[アクティベート] をクリックします。
FileMaker Pro ソフトウェアのアクティベーションを解除する	[ヘルプ] メニューから [アクティベーションの解除...] を選択します。ソフトウェアを電話でアクティベートした場合は、電話でのみアクティベーションを解除できます。

アクティベーションの動作は、評価版と製品版のソフトウェアでは異なります。評価版ユーザは、ソフトウェアの購入までに時間があります（通常は 30 日間）。評価期間中は、いつでもソフトウェアの購入ができ、起動時にライセンスキーを入力してアクティベートすることができます。評価期間の有効期限が切れると、引き続き使用するためには、ソフトウェアを購入して、すぐにアクティベートする必要があります。

製品版ソフトウェアは後でアクティベートできます。これは、「アクティベーション試用期間」と呼ばれます。FileMaker Pro では、ソフトウェアのアクティベーションまでに試用期間があります（通常は30日間）。ソフトウェアを起動するたびに、アクティベーションダイアログボックスで試用期間の残り時間が表示され、ソフトウェアをアクティベートするようにメッセージが表示されます。

この試用期間に従って、引き続き使用するためにはソフトウェアをアクティベートする必要があります。評価版には、アクティベーション試用期間はありません。

インターネット接続がない場合には、電話でソフトウェアをアクティベートできます。サービスディレクトリにリストされた電話番号を使用して、FileMaker Customer Assistance までお問い合わせください。最新情報については、www.filemaker.co.jp を確認してください。

ソフトウェアをアクティベートすると、アクティベーションを解除したり、アクティベーションを別のコンピュータに送信できます。これにより、FileMaker Pro を別のコンピュータ上で実行できます。何らかの理由で FileMaker Pro をアンインストールする必要がある場合は、アンインストールする前にアクティベーションを解除します。

アクティベーションの詳細については、FileMaker Pro ヘルプの「FileMaker ソフトウェアのアクティベーション」を参照してください。

必要なハードウェアとソフトウェア

重要 FileMaker では、この『インストールおよび新機能ガイド』の作成時に、次に示した Windows および Mac OS オペレーティングシステムで FileMaker Pro 9 をテストしています。オペレーティングシステムより新しいリリースでは、FileMaker Pro は動作する場合がありますが、動作しない場合もあります。より新しいオペレーティングシステムの詳細については、www.filemaker.co.jp を参照してください。

FileMaker Pro をインストールして使用するには、次のハードウェアとソフトウェアが最低限必要です。

Windows の必要条件

- Windows Vista Home、Business、または Ultimate の場合、Pentium III 800 MHz 以上、512MB の RAM
- Windows XP の場合、Pentium III 500 MHz 以上、256MB の RAM
- SVGA (800x600) 以上の解像度のビデオアダプタおよびディスプレイ

Mac OS の必要条件

- PowerPC G3 以上のプロセッサを搭載した Macintosh コンピュータ、または Intel ベースの Macintosh コンピュータ
- 256 MB の RAM
- Mac OS X バージョン 10.4.8
- QuickTime 6.4 から 7 ソフトウェア (ご使用の Mac OS のバージョンに付属していない場合は、www.apple.co.jp から入手することができます)

注意 PowerPC 向けに作成された Mac OS プラグインを Intel ベースの Mac コンピュータでネイティブに実行するためには、ユニバーサルバイナリとして再コンパイルする必要があります。ユニバーサルバイナリによって、アプリケーションは、PowerPC と Intel ベースの Macintosh 両方でネイティブに実行できます。Intel ベースの Macintosh 上で FileMaker Pro 9 で使用する必要がある FileMaker Pro の旧バージョンからのプラグインがある場合は、FileMaker Pro を Rosetta で実行するように設定できます。Finder で [FileMaker Pro] を選択して、[ファイル] メニューから [情報を見る] を選択し、Rosetta を使って開くオプションを選択します。

ネットワークを使用する場合の条件

ネットワーク上の他のコンピュータと FileMaker Pro ファイルを共有する場合は、まず使用するネットワークの種類を確認してください。FileMaker Pro 9 では、TCP/IP ネットワークプロトコルがサポートされています。

コンピュータにインストールされていて使用中のネットワークプロトコルが不明な場合は、インストールを開始する前にネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークに接続するには、コンピュータにネットワークカードが装着されていて、必要なソフトウェアがインストールされている必要もあります。

Web 上でデータベースを公開する場合の条件

FileMaker Pro インスタント Web 公開を使用して Web 上でデータベースを公開するには、TCP/IP 経由で接続されているインターネットまたはイントラネットにアクセスできるホストコンピュータが必要です。

重要 インターネットにアクセスするにはインターネットサービスプロバイダ (ISP) が必要です。FileMaker Pro ではインターネットアカウントは提供されません。

他の機能を使用するための条件 (Windows)

Windows 用の FileMaker Pro の機能を利用するには、以下のソフトウェアが必要です。

機能	必要なソフトウェア
[メールを送信] スクリプトステップ	メール API (MAPI) が使用可能な電子メールクライアントソフトウェア
[電話をかける] スクリプトステップ	ダイヤラまたは他の Telephony API (TAPI) 対応のソフトウェア
ODBC 機能	Microsoft Data Access Components (MDAC) バージョン 2.8 SP1 (Windows XP) または Windows DAC 6.0 (Windows Vista)。MDAC ソフトウェアを更新するには、Microsoft 社のホームページを参照してください。 クライアントアプリケーションとして FileMaker Pro を使用して外部データソースにアクセスするには、使用しているデータソースに対応するサードパーティのドライバが必要です。 ODBC やドライバの情報については、 www.filemaker.co.jp を参照してください。
QuickTime ムービーおよび画像ファイルの挿入	QuickTime 6 ソフトウェア (www.apple.co.jp から入手することができます)

他の機能を使用するための条件 (Mac OS)

Mac OS X 用の FileMaker Pro の機能を利用するには、以下のソフトウェアが必要です。

機能	必要なソフトウェア
[メールを送信] スクリプトステップ	電子メールクライアントソフトウェア (Microsoft Entourage または Mac OS X Mail)

ODBC 機能

クライアントアプリケーションとして FileMaker Pro を使用して外部データソースにアクセスするには、使用しているデータソースに対応するサードパーティのドライバが必要です。

ODBC やドライバの情報については、www.filemaker.co.jp を参照してください。

Mac OS X でサポートされていない機能

Mac OS X 用の FileMaker Pro では、[電話をかける]、[オブジェクトを挿入]、[DDE コマンドを送信]、および [リンクの更新] スクリプトステップはサポートされていません。

Windows でサポートされていない機能

Windows 用の FileMaker Pro では、[AppleScript を実行] および [読み上げ] スクリプトステップはサポートされていません。

旧バージョンのファイルの開き方

FileMaker Pro 9 では、旧バージョンの FileMaker Pro で作成されたファイルを開くことができます。詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

ユーザ辞書の更新

旧バージョンの FileMaker Pro でユーザ辞書に単語を追加した場合は、FileMaker Pro 9 でもその辞書を使用することができます。ユーザ辞書の変換の詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

ボリュームライセンスのインストール

ボリュームライセンスで複数の FileMaker Pro をインストールする場合、または自動（サイレント）インストールを行いたい場合は、処理を自動化することができます。FileMaker Pro CD に収録されている「Assisted Install.txt」ファイルを使用して、インストールダイアログボックスをバイパスすることができます。詳細については、『FileMaker Pro および FileMaker Pro Advanced のネットワークインストールセットアップ』ガイドを参照してください。ボリュームライセンスの詳細については、www.filemaker.co.jp を参照してください。

第 2 章

Windows での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了して作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報については、CD の内容を参照して「お読みください」を読むか、www.filemaker.co.jp を参照してください。

インストール参考事項

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- FileMaker Pro をインストールするには、管理者権限が必要です。
- ご使用のコンピュータでウイルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。
- FileMaker Pro のインストール中、[ソフトウェア・ライセンス] ダイアログボックスが表示されます。ソフトウェアライセンスを読みます。ライセンスの条項に同意するときは、[ライセンスの条項に同意します] をクリックして、[次へ] をクリックします。
- デフォルトでは、FileMaker Pro は次のフォルダにインストールされます。

C:\Program Files\FileMaker\FileMaker Pro 9

インストール中に別のドライブまたは別のフォルダを選択することができます。

- デフォルトでは、FileMaker Pro Advanced は次のフォルダにインストールされます。

C:\Program Files\FileMaker\FileMaker Pro 9 Advanced

インストール中に別のドライブまたは別のフォルダを選択することができます。

- インストール中に、すべてのプログラム機能をインストールする ([すべて])、またはプログラムの一部をインストールする ([カスタム]) を選択します。たとえば、ディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- インストールの開始時に、FileMaker Pro アプリケーションの言語バージョンを選択します。デフォルトで選択される言語バージョンは、オペレーティングシステムの言語と同じです。[すべて] でインストールする場合は、選択した言語バージョンのみがインストールされます。[カスタムインストール] を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。
- アップグレードインストールまたはソフトウェアアップグレードの実行前に、FileMaker ソフトウェアはハードドライブおよびシステムに接続しているボリュームすべてをスキャンして旧バージョンを検索します。複数のドライブまたはボリュームがある場合は、このスキャンには数分かかる場合があります。

FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするには、インストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても、FileMaker Pro はインストールできません。

インストールされたすべてファイルのレジストリエントリとパスの一覧を記録したインストールログファイルを作成する場合は、FileMaker Pro をコマンドラインからインストールする必要があります。17 ページの「コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール」を参照してください。

FileMaker Pro をハードディスクにインストールするには、次の操作を行います。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブに挿入すると、FileMaker CD ウィンドウが開きます。
2. [インストール] アイコンをクリックします。



FileMaker Pro 用の InstallShield ウィザードが表示されます。

3. 画面上の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。

インストールに関する問題の詳細については、15 ページの「インストール参考事項」を参照してください。

4. インストールが終了したら、[完了]をクリックします。

インストールが終了すると、[ユーザ登録] ダイアログボックスが表示されます。

コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール

コマンドラインから FileMaker Pro をインストールして、インストールログファイルを作成するには、次の操作を行います。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブに挿入します。
2. コマンドウインドウを開きます。
3. コマンドウインドウで、次のコマンドを入力します。

```
E:¥Files¥setup.exe /v"/Lr C:¥
FMP9InstallLog.txt"
```

「E:」は、CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブです。CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブに別のドライブ文字を使用する場合は、その文字を「E」の代わりに入力します。

4. 画面の指示に従います。

「FMP9InstallLog.txt」ファイルがハードディスクのルートディレクトリに作成されます。このファイルは、ワードパッドまたはワードプロセッサプログラムで表示することができます。

注意 CD-ROM または DVD ドライブが E ドライブではない場合は、代わりに正しいドライブ文字を指定してください。

ハードディスク上でのファイルの保存場所

FileMaker Pro インストーラにより、オペレーティングシステムおよび選択したインストールオプションに応じて、ハードディスク上の複数のフォルダにファイルがコピーされます。コマンドラインインストールを実行して、インストールログファイルを指定した場合は、インストールされた各ファイルの保存場所を記録したインストールログファイルを参照することができます。

FileMaker Pro の削除、変更、または修復

Windows XP のコントロールパネルの [プログラムの追加と削除]、または Windows Vista のコントロールパネルの [プログラムと機能] を使用して、FileMaker Pro を削除したり、失われたファイルや壊れたファイルを自動的に修復したり、インストールする機能を変更することができます。詳細については、Windows ヘルプを参照してください。

注意 FileMaker Pro と共にインストールされたサンプルやテンプレートファイル (Starter Solution) とは異なる名前で作成されているファイルは、FileMaker Pro をアンインストールしても削除されません。

FileMaker Pro を変更または修復する場合は、ライセンスキーを入力するようプロンプトが表示されることがあります。

注意 FileMaker Pro のアンインストールを行う前に、ソフトウェアのアクティベーションを解除します。詳細については、8 ページの「FileMaker ソフトウェアのアクティベーション」を参照してください。

FileMaker Pro のキャッシュサイズの変更

FileMaker Pro は、データベースの一部を内部キャッシュに保持します。使用しているコンピュータのメモリ設定によっては、キャッシュサイズを変更してコンピュータのパフォーマンスを向上させることができます。

次のような場合、キャッシュサイズを増加することをお勧めします。

- 作業するデータベースファイルのサイズが大きい場合
- 複数のデータベースファイルで同時に作業する場合
- ホストとしてデータベースファイルを開く場合
- 多数のグラフィックを含むデータベースファイルを使用する場合
- データベースファイルにサイズの大きいグラフィックを挿入する場合

限られたメモリ (RAM) 量で複数のアプリケーションを同時に起動する場合は、キャッシュサイズを削減することをお勧めします。

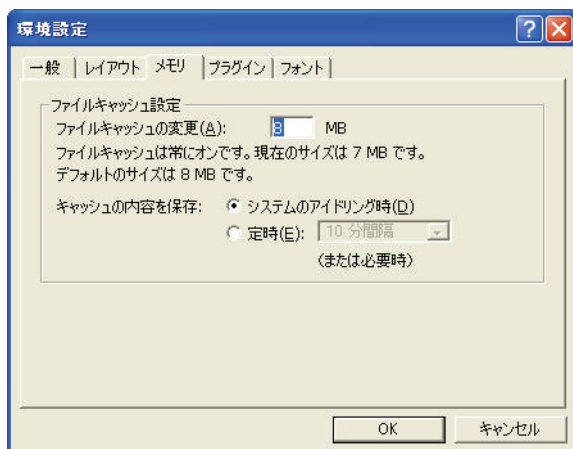
注意 FileMaker Pro に割り当てるキャッシュサイズを増減させると、FileMaker Pro の実行に必要なメモリ量も増減します。

メモリ管理方法の詳細については、コンピュータに付属のドキュメントを参照してください。

FileMaker Pro で使用するキャッシュサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro の [編集] メニューから [環境設定...] を選択します。
[環境設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. [メモリ] タブをクリックします。



3. [ファイルキャッシュの変更:] ボックスに数値を入力してから、[OK] をクリックします。

次回 FileMaker Pro を起動すると、指定したキャッシュサイズが使用されるようになります。

この後の作業を開始するにあたって

FileMaker Pro のインストール終了後、アプリケーションで直ちに作業を開始することができます。実際の作業に取りかかる前に、以下を参考にしてください。

- データベースを初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro ユーザーズガイド』の第2章「データベースの使用」および第3章「データベースの作成」をお読みください。ここではデータベースの基本概念が説明されています。

- FileMaker Pro を初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro チュートリアル』のレッスンを行ってください。チュートリアルの PDF ファイルとサンプルファイルは、「日本語エキストラ」フォルダ内の「チュートリアル」フォルダにあります。
- FileMaker Pro の使用経験がある方は、このガイドの第 4 章の「新機能」をお読みください。FileMaker Pro 9 および FileMaker Pro 9 Advanced で利用できる新しい機能の概要が紹介されています。
- FileMaker Pro Advanced をすでに利用しているユーザは、『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

第 3 章

Mac OS での FileMaker Pro の インストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了して作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報については、CD の内容を参照して「お読みください」を読むか、www.filemaker.co.jp を参照してください。

インストール参考事項

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- ご使用のコンピュータでウイルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。
- FileMaker Pro のインストール中、[使用許諾契約] ダイアログボックスが表示されます。ソフトウェアライセンスを読みます。[同意します] をクリックしてライセンス契約書に同意します。
- インストール中に、すべてのプログラムファイルをインストールする [簡易インストール]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタムインストール] を選択します。たとえば、ディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- [簡易インストール] を選択した場合は、オペレーティングシステムと同じ言語の FileMaker Pro がインストールされます。[カスタムインストール] を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。

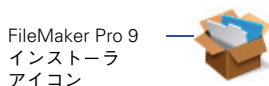
- アップグレードインストールまたはソフトウェアアップグレードの実行前に、FileMaker ソフトウェアはハードドライブおよびシステムに接続しているボリュームすべてをスキャンして旧バージョンを検索します。複数のドライブまたはボリュームがある場合は、このスキャンには数分かかる場合があります。

FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするには、インストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても、FileMaker Pro はインストールできません。

FileMaker Pro をハードディスクにインストールするには、次の操作を行います。

1. CD-ROM を CD-ROM ドライブまたは DVD ドライブに挿入すると、FileMaker CD ウィンドウが開きます。
2. 「FileMaker Pro 9」インストーラのアイコンを探してダブルクリックします。



3. プロンプトが表示されたら、Mac OS の管理者ユーザ名とパスワードを入力します。
4. 画面の指示に従って、FileMaker Pro をインストールします。
5. [終了] をクリックしてインストーラを終了します。

インストールが終了すると、ユーザ登録ダイアログボックスが表示されます。

ハードディスク上でのファイルの保存場所

FileMaker Pro インストーラにより、オペレーティングシステムおよび選択したインストールオプションに応じて、ハードディスク上の複数のフォルダにファイルがコピーされます。インストールが完了したら、「FileMaker Pro 9」フォルダ内にある「Installer Log File」を表示することができます。このログファイルには、インストールされた各ファイルの保存場所が記録されています。このファイルは、テキストエディットまたはワードプロセッサプログラムで表示することができます。

Mac OS X での ODBC クライアントドライバのインストール

FileMaker Pro の ODBC サポートを使用することで、Oracle のデータベースなど、コンピュータやネットワーク上の他のアプリケーションからのデータを操作することができます。ODBC やドライバの情報については、www.filemaker.co.jp を参照してください。

FileMaker Pro のキャッシュの調整

Mac OS X では必要に応じて動的にアプリケーションにメモリが割り当てられるため、FileMaker Pro アプリケーションに特定の量のメモリを割り当てるように設定することはできません。ただし、FileMaker Pro のキャッシュサイズを調整することは可能です。

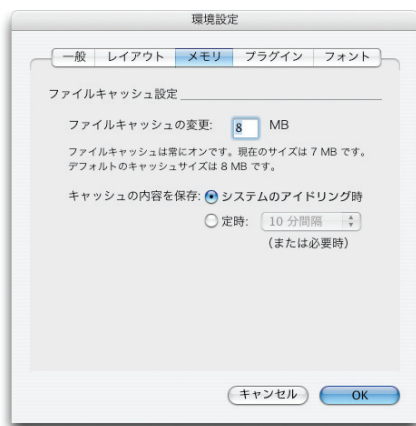
次のいずれかの項目を実行する場合は、キャッシュサイズを増やすことができます。

- 作業するデータベースファイルのサイズが大きい場合
- 複数のデータベースファイルで同時に作業する場合
- ホストとしてデータベースファイルを開く場合
- 多数のグラフィックを含むデータベースファイルを使用する場合
- データベースファイルにサイズの大きいグラフィックを挿入する場合

限られたメモリ (RAM) 量で複数のアプリケーションを同時に起動する場合は、キャッシュサイズを削減することをお勧めします。

FileMaker Pro で使用するキャッシュサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro で [FileMaker Pro] メニューから [環境設定...] を選択して、[メモリ] タブをクリックします。



2. [ファイルキャッシュの変更:] ボックスに数値を入力してから、[OK] をクリックします。

次回 FileMaker Pro を起動すると、指定したキャッシュサイズが使用されるようになります。

この後の作業を開始するにあたって

FileMaker Pro のインストール終了後、アプリケーションで直ちに作業を開始することができます。実際の作業に取りかかる前に、以下を参考にしてください。

- データベースを初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro ユーザーズガイド』の第2章「データベースの使用」および第3章「データベースの作成」をお読みください。ここではデータベースの基本概念が説明されています。
- FileMaker Pro を初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro チュートリアル』のレッスンを行ってください。チュートリアルの PDF ファイルとサンプルファイルは、「日本語エキストラ」フォルダ内の「チュートリアル」フォルダにあります。
- FileMaker Pro の使用経験がある方は、このガイドの第4章の「新機能」をお読みください。FileMaker Pro 9 および FileMaker Pro 9 Advanced で利用できる新しい機能の概要が紹介されています。
- FileMaker Pro Advanced をすでに利用しているユーザは、『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

第 4 章

新機能

この章では、FileMaker Pro 9 および FileMaker Pro 9 Advanced の新機能と改善点の概要を説明します。これらの機能の詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

FileMaker Pro 9 の新機能

共有と協調

- 外部 SQL (ODBC) データソースのサポート — SQL テーブルのデータの表示、アクセス、および使用。たとえば、外部 SQL データベースから FileMaker Pro リレーションシップグラフにテーブルを追加できます。
- 補助フィールド — 非保存の計算フィールドや集計フィールドを、FileMaker Pro 内の SQL (ODBC) データソーステーブルに追加します。外部テーブルからのデータを変更することなく、FileMaker Pro のレイアウト、スクリプト、検索、ソート、連結、およびエクスポートでこれらのフィールドを使用します。この機能により、SQL テーブルを拡張できます。たとえば、FileMaker Pro ファイルに格納された集計データを集計フィールドを使用して表示するように、補助フィールドを使用して外部ファイルからの集計データを表示することができます。
- 共有データベースへの電子メールリンク — 新しい [ファイル] メニューの [リンクの送信...] メニュー項目を選択して、FileMaker Pro 共有データベースへの URL リンクを含む電子メールを送信できます。この機能は、共有ピアツーピアまたは FileMaker Server でホストされたデータベースで使用します。
- ピアツーピアファイル共有ユーザ数の増加 — FileMaker Pro ネットワーク共有で、最大 9 人のユーザが同時にファイルを共有できます。

レポートおよび分析

- 条件付き書式 — 新しい [書式] メニューの [条件付き...] メニュー項目で指定する条件を基準に書式ルールを設定して、フィールドのデータ、レイアウト、またはテキストベースのボタンに条件付き書式を適用できます。たとえば、期限切れの請求書を赤で表示できます。
- 既存の PDF に追加 — この新しいスクリプトステップオプションで、新しいデータを既存の PDF ファイルに追加できます。たとえば、増加していくデータを、PDF ファイルとして保存されたレポートに追加できます。

ユーザビリティの改善

- 新しい FileMaker Pro クイックスタート画面 — この新しいダイアログボックスを使用して、FileMaker Pro の使用と学習を開始します。[FileMaker クイックスタート] 画面では、ファイルを作成したり、ローカルまたはリモートネットワークコンピュータ上の既存ファイルを開いたり、FileMaker Pro の電子マニュアルにアクセスすることができます。
- オンラインの更新の通知 — ソフトウェアアップデートがインターネットで入手できる場合は、通知を受け取ります。詳細については、6 ページの「更新の通知」を参照してください。
- レイアウトオブジェクトの自動サイズ変更 — ウィンドウのサイズ変更によってレイアウトオブジェクトを動的に調整する方法を指定できます。ウィンドウをサイズ変更する場合は、データはフォーム上、プレビューモード、および印刷時に縮小または拡大します。
- タブパネルコントロールの強化 — 新しいタブコントロール設定機能を使用して、デフォルトタブとフォーム上のタブ幅を設定できます。
- Web ビューアの改善 — 新しい進行状況バー領域にあるステータスとメッセージについてのオプションを表示、設定できます。

- [詳細...] ボタン — [Web ビューアの設定]、[ボタン設定]、[計算式の指定]、および [新規レイアウト/レポート] ダイアログボックスから文脈依存型のヘルプトピックに直接リンクし、使用方法について参照できます。
- [ヘルプ] メニューの強化 — [ヘルプ] メニューから、製品マニュアル、FileMaker Pro の登録やアクティベーション、アクティベーションの別のコンピュータへの転送、FileMaker へのフィードバックの送信などにアクセスできます。
- [ファイル] メニューの変更 — [ファイル] メニューの [定義] サブメニュー項目が、[ファイル] メニューの [管理] サブメニュー項目になり、[定義] ダイアログボックスは [管理] ダイアログボックスになりました。たとえば、フィールドをデータベースに追加するには、[データベースの管理] ダイアログボックスを使用します。
- [元に戻す/再実行] の改善 — アクティブなフィールドまたはレイアウトのテキストオブジェクトで複数回、編集を元に戻したり再実行できます。
- スペルチェックの改善 — 個々のフィールドの視覚的なスペルチェックを制御できます。
- ツールバーの強化 — [整列] ツールバー（レイアウトモード）、[レコードを Excel として保存]、および [レコードを PDF として保存] などの新規および改善されたボタンを使用できます。

スクリプト

- 複数のスクリプト編集ウィンドウ — 複数のスクリプトを同時に管理、表示、および編集できます。
- スクリプト組織化 — グループやフィルタを作成して、さまざまなスクリプトの管理とスクリプトの検索を実行できます。
- スクリプトのコピーと貼り付け（ペースト） — 1つのファイルからすべてのスクリプトとスクリプトステップをコピーし、同じファイル内または別のファイルに貼り付けできます。

関数とスクリプトステップ

- Get (ホストアプリケーションバージョン) 関数 — 現在のデータベースをホストしているコンピュータで実行している FileMaker Pro または FileMaker Server のバージョンを返します。
- Get (テンポラリパス) 関数 — 現在のユーザのコンピュータで FileMaker Pro が使用している一時フォルダへのパスを返します。
- Self 関数 — 計算が定義されているオブジェクトの内容を返します。
- Acos 関数 — 数値のアークコサイン（逆余弦）を返します。
- Asin 関数 — 数値のアークサイン（逆正弦）を返します。
- [元に戻す/再実行] スクリプトステップ — ファイル内で最近実行された処理を、元に戻したり、再実行したり、切り替えたりします。

FileMaker Pro 9 Advanced の新機能

- 強化されたスクリプトデバッガ — ログイン時および認証時のアクセス制限されたスクリプトのデバッグ、複数のスクリプトステップの選択、最後のスクリプトエラー結果の表示、スクリプトデバッガの詳細情報についてのヘルプに直接リンクします。
- 強化されたデータビューア — 新しい [現在] タブを使用して、現在のスクリプト内のフィールドまたは変数データを表示し、ログイン時および認証時にデータビューア内の制限されたデータを表示します。
- PHP Site Assistant — [ツール] メニューから [PHP Assistant の起動] を選択して、PHP Site Assistant に直接リンクします。（PHP ツールは、FileMaker Server 製品の一部です。詳細については、FileMaker Server のマニュアルを参照してください。）
- 強化されたデータベースデザインレポート — スクリプトグループ、外部 SQL データソーステーブル、新しい関数などの新機能を含む、データベースソリューションのレポートを作成します。